



週報

Rotary
東京本郷ロータリークラブ 

2023-2024 年度 国際ロータリーテーマ 「世界に希望を生み出そう」
東京本郷ロータリークラブテーマ 「皆で団結し、共に前進しよう」

創立/平成 3 年 3 月 13 日 (1991 年)

事務局/〒 102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-9-6-905 電話: 03-3238-5350 FAX: 03-3238-5352

インターネットホームページ: <http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail: office@t-hongo-rc.gr.jp

例会: 毎週水曜日 12 時 30 分 例会場: ホテルメトロポリタンエドモント 電話: 03-3237-1111

〒 102-8130 東京都千代田区飯田橋 3-10-8

会長: 井田吉則 副会長: 熊井 寛 会長エレクト: 星野大記 幹事: 飯塚貞子 会報委員長: 林 一好

第 1499 回例会

2024 年 6 月 19 日発行 (No. 1442)

本日の卓話 (6 月 19 日)

「町田ゼルビアを1年でJ2優勝
に導いた理念経営」

(株)ゼルビア 代表取締役 COO

上田 武蔵 様

紹介者 上田 晋 会員

次回の例会 (6 月 26 日)

最終例会

点鐘: 18:00

於: ホテルメトロポリタンエドモント
3F 「春琴の間」

6 月 12 日 第 1498 回例会報告

卓話

「発達性ディスレクシアを知る」

中野区療育センター ゆめなりあ

言語聴覚士 関口 裕昭 様

紹介者 市河 久和 会員

「内容を録音したデータが事務局にあります」



卓話をされる関口様

会長報告

1. 米山記念諸学会より、古関会員へ「第4回 米山功労者」の感謝状が届いていますので、お渡しします。



幹事報告

1. 青少年交換学生マーフィーが7月26日(金)に帰国します。
マーフィーの来会日は6月19日、7月10日(卓話)の2回となります。
見送りに参加できる場合は、田上カウンセラーまでご連絡をお願い致します。

出席

会員数：45名 出席数：26名 欠席数：16名
出席免除者数：3名 出席率：61.90%
5月29日修正後出席率：74.42%
クラブゲスト：関口裕昭様（卓話講師）
矢ヶ崎花音様（東京本郷RAC会員）

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

ニコニコBOX

* 山路敏之会員

- ① 39回目の結婚記念日 39（サンキュー）
- ② 三浦さん、ご長男のご誕生おめでとうございます。

* 市河久和会員

関口さん、本日は卓話よろしくお願ひいたします。ディスレクシアの理解が深まり、何かしらの支援につながることを念願しております。

* 本郷 滋会員

青少年野球大会の残金です。忘れてました。

* 上田 晋会員

6/1に紀尾井ホールで800人の満員の中、26か国の国歌を歌って来ました。アクトメンバー7名が参加し、深澤会員のご家族の皆さんも来て頂きました。感謝申し上げます。
ローターアクトの矢ヶ崎花音さん来て頂きありがとうございました。

ニコニコBOX	12,454円
累計	1,196,369円

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

「ロータリー青少年交換プログラムを支えるボランティアたち」

ロータリー Web「ニュース&特集記事」より抜粋
<https://www.rotary.org/ja/>

1970年代、スキーが好きだったスウェーデン人学生、オロフ・フリスクさんは、ロータリー青少年交換に参加し、留学先として米国コロラド州を選びました。しかし、彼の人生の道を形づくったのは、地区でのほかの交換学生との出会いでした。

いつの日かロータリアンになりたいと思っていたフリスクさんは、その後、ロータリークラブに入会。クラブ会長と地区青少年交換委員長を務めた後、スウェーデン国内のプログラム全体を監督する多地区合同青少年交換委員長を務めました。第2340地区ガバナーとなった今もこのプログラムにかかわり続け、「青少年交換を支えるボランティアとなることはロータリーの未来への投資」であると考えています。

「青少年交換にかかわって交換学生たちがどのように交流しているかを見なければ、このプログラムの重要性はわからない」とフリスクさん。「世界中からの学生がリーダーシップを発揮し、互いに友情を培います。これこそ、平和構築の土台にある考え

ではないでしょうか」

それなら自分もかかわってみようと感じている方もいるでしょう。ほかの交換プログラムとは異なり、ロータリー青少年交換は会員とボランティアだけで運営されているため、常にクラブと地区の両方で人手が必要とされています。

ホストファミリー

一番需要が多いのは、ホストファミリーです。あなたの地区が青少年交換に参加しているなら、まずはクラブ委員長に連絡してみましょう。青少年と接するほかのボランティアと同様、ホストファミリーは参加申込書への記入、犯罪歴やそのほかの照会、面接のプロセスを経る必要があります。

「まずはホストファミリーとなるのがよいでしょう。どのレベルであれ、このプログラムの手配や調整を行っていくなら、ホストファミリーとしての経験がいずれ役立ちます」と話すのは、第4500地区（ブラジル）で青少年交換学生のカウンセラーを務めるサブリーナ・バレットさんです。サブリーナさんは、短期、長期の両交換に参加した経験があります。

バレットさんの母、エマヌエルさん（ナタル・ポティグアル・ロータリークラブ会員）も地区で青少年交換委員長を務め、これまでに40人以上の学生のホストマザーとなってきました。初めてホストマザーとなったのは、サブリーナさんがまだ1歳のときでした。カウンセラー

ボランティアとしてかかわるもう一つの方法に、カウンセラーとすることがあります。学生、クラブ、ホストファミリー、地域社会との連絡役となるカウンセラーは、クラブによって任命されます。学生にとってロータリーで第一の窓口であり、新しい国や地域社会での生活に慣れられるよう、留学中は定期的に学生と連絡を取り合います。

ロータリーのカウンセラーは、学生の交換において権威のある役割を兼任することはできません（例えば、ホストファミリーの一員、高校の校長、クラブ会長、地区やクラブの青少年交換役員など）。カウンセラーはまた、起こりうる問題や懸念に対応できる人でなければなりません。これには、地元に関する学生からの単純な質問から、虐待やハラスメントといったまれな問題まで含まれます。

エマヌエルさんはこう言います。「カウンセラーが学生とつながりを築くことがとても大切です。一緒にお茶やランチに行ったり、映画を見たりすることだけを言っているのではありません。学生のことをよく知り、時間を割いて一緒に過ごす必要があります。それは、時には何もせずにただ一緒にいてあげることも意味します」

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

本日の例会にて、

ロータリー財団寄付	2名	26,000円
米山特別寄付	0名	0円

のご寄付をいただきました。
ありがとうございました。